
恋 忍者

鹿星

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

「」のPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

恋 忍者

【ZPDF】

Z2468D

【作者名】

鹿星

【あらすじ】

このお話は、恋する忍者のお話です。江戸時代に何で学園があるの？ってことは、まあ作者が馬鹿なのでスルーするか、『自由に想像して下さい』（土下座）

「」は和の国。

「」には忍者がいて、和の国を守り、国、他国、国民からの依頼を受け、日夜活動しているらしい。

その和の国の忍者の1人、

孤帝河 莉奈 は、

忍者の学校、月光学園に通っている。

月光学園とは、まあ私達でいう中学校みたいな感じで考えて下さい。ちなみに読みは…あ、どうでもいい?」めん。

「暇だなあ……」

屋上でサボり中の莉奈。（こつもの事だが）

その時、

奴は来た。

「おーす孤帝河!…サボりか~ちゃんと授業でねよ~

「アンタもだろが!…」

奴とは、猿飛 鋭羽。

莉奈のライバル兼親友（？）兼サボリ仲間である。

莉奈は「イツが好きだつたりする。猿飛は金髪のツンツンに赤目といつ変わった外見。対して莉奈は黒髪黒目のかつて普通の外見である

「……お前さ…恋人いるのか？」

「は？何よいきなり…………いにきまつてんじやん…！…悪い？」

「いや、別に…じゃあ好みのタイプは？」

「は？なんでアンタに教えなきやなんないのよ」

「俺のも教えるからセー」

「…………シンシン」

「マジで？」

猿飛絶句。

「悪い？」

「いや別に…！」

「アンタは？」

「俺は……お」

キーンパーンカーンパーン

「……」

「……次、なんだっけ」

「確かに手裏剣の実技」

「サボつて早弁しよ」

「あ、俺もそうじよ」

ぱくぱくぱくぱく

「アンタよく食べるな」

「おう……腹が減つては戦は出来ぬっていうだろ?」

「……」

2人で仲良く早弁します。
まだ2時間目だよ……

帰り道。

「はーあ、今田もわざわざ遊びたーー！」

莉奈が屋根の上を軽々と渡つていると、

「さ、猿飛君の事がスキです！付き合ってくれませんか？」

「（嘘…ああああああ愛の告白？…あいつ結構モテるんだ……よーし、盗み聞きターミナル…）」

莉奈は2人の近くに行つた。

「…………」「めん。お前とは付き合えねえ

「そんな…好きな人でもいるんですか？！」

「……ああ」

「（あ…………そつなんだ………）ちょっとでも期待したアタシが馬鹿だつた…………アタシ、なんかじや………ない………だろな…………」

莉奈の頬に涙が伝つ。

「

パン

「猿飛君の馬鹿……」

女の子は泣きながら走つていった。

「（あ……ほっぺ叩かれてる……）」

「痛ッ……」

「（……）」

莉奈は涙を手でぬぐつた。

「猿飛……」

「？！孤帝河！」

「お前、さつき女の子振つてほっぺ叩かれてただろ……めつちや腫

れてるぞー！冷やしあけよなー！

「…………お前、泣いてたのか？」

「は!? んなわけないじゃん……」

「……そつかよーし、一緒帰るーぜ！」

い
い
い
け
ど
…
」

「なあ、お前の「」と名前で呼んでいいか?」

「？」
「！」
「いいけど」

「なら、莉奈！俺も名前で呼んでくれな！」

うん

こんな会話がいつまで続くのか、それを考えるとまた涙が溢れてしまつた。

「！？お前…泣いて…」

۱۰۰

「どうぞお入り下さい。」

猿飛は莉奈をぐいと引っ張ると近くの森へ

2人は森の奥にある岩に腰掛けた。

「ぐす…ぐす…」

「…………お前だ」

「…………？」

「…俺の事…好きか？」

「？…え…？」

「俺は…………お前が…」

好きだ」

「え……？」

「迷惑かもしれないけど…」

「…………じゃない」

「え……？」

「あたしも……銳羽の事がスキだから……迷惑なんかじゃない」

「あ

「？」

「あんがと……莉奈……」

いつのまにか涙が止まっていた。

「えへへ……」

「へへ

「…………あ、そりこえばれ」

「ん？」

「好みのタイプ…………何で離れたの？」

111

- 7 -

卷之二

一言わせたか？たら捕まえてみ——ろ！！

2人はしばらく森でおいかげっこしたんだとさ。

『本當は……』

お前みたいな奴……………だよ』

E
N
D

(後書き)

や、ヤバイっす…

恋愛小説初めてだから何かきやいいんだよ畜生…………（泣

クサい話になつたで「ワスが読んでも下さるとありがたいやマス（
壊）アドバイスとかもお願ひします！－

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2468d/>

恋 忍者

2010年12月29日22時57分発行